

2023年3月期 第1四半期 決算概況

2022年8月9日

株式会社 J-オイルミルズ

問い合わせ先：

コーポレートコミュニケーション部 Tel. 03-5148-7101

Agenda

- 1 2022年度1Q 決算概況
- 2 2022年度 業績予想
- 3 参考資料

2022年度1Q 連結業績概要

2022年度 1Q業績

(億円)

	前期	当期	前年差	前年比	上期予想	進捗率
売上高	461.7	600.2	138.5	+30.0%	1,200.0	+50.0%
営業利益/営業損失	▲2.1	7.1	9.2	-%	0.0	-%
経常利益	▲1.0	7.8	8.8	-%	1.5	+521.5%
親会社株主に帰属する 当期純利益	7.9	5.3	▲2.6	▲32.8%	0.0	-%

2022年度 1Q実績

- 原料価格高騰を受けた価格改定とミール価格の上昇により増収
- 汎用油の価格改定と高付加価値品の拡売、ミールの販売単価の増加により増益
- 当期純利益は前期の特別利益（ケミカル事業関連売却益約13億円など）の反動で減益

2022年度1Q セグメント別業績

2022年度 1Q業績

(億円)

	2021年度	2022年度	前年差	前年比
売上高				
油脂事業	399.1	544.9	145.8	+36.5%
スペシャルティフード事業	50.2	52.7	2.5	+5.0%
（内乳系PBF）※	30.3	31.4	1.2	+3.8%
（内食品素材）※	19.9	21.3	1.4	+6.8%
その他事業	12.4	2.6	▲9.8	▲79.2%
連結合計	461.7	600.2	138.5	+30.0%
営業利益				
油脂事業	▲2.0	10.7	12.7	-%
スペシャルティフード事業	▲1.5	▲4.0	▲2.5	-%
（内乳系PBF）※	▲1.9	▲3.9	▲2.0	-%
（内食品素材）※	0.4	▲0.1	▲0.5	-%
その他事業	1.4	0.4	▲1.0	▲70.6%
連結合計	▲2.1	7.1	9.2	-%

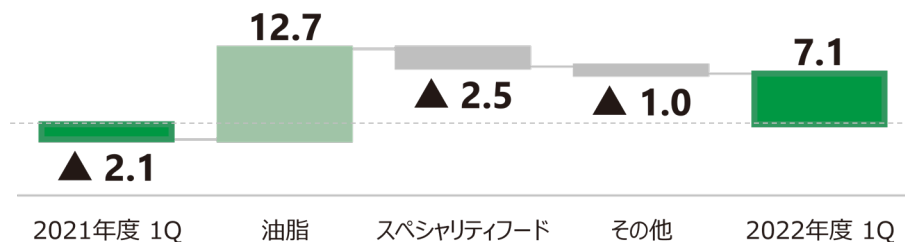
※2022年度より油脂加工品を乳系PBFに名称変更、テクスチャーデザインとファインを食品素材事業に集約

2022年度1Q 営業利益増減分析

【セグメント別営業利益 増減】

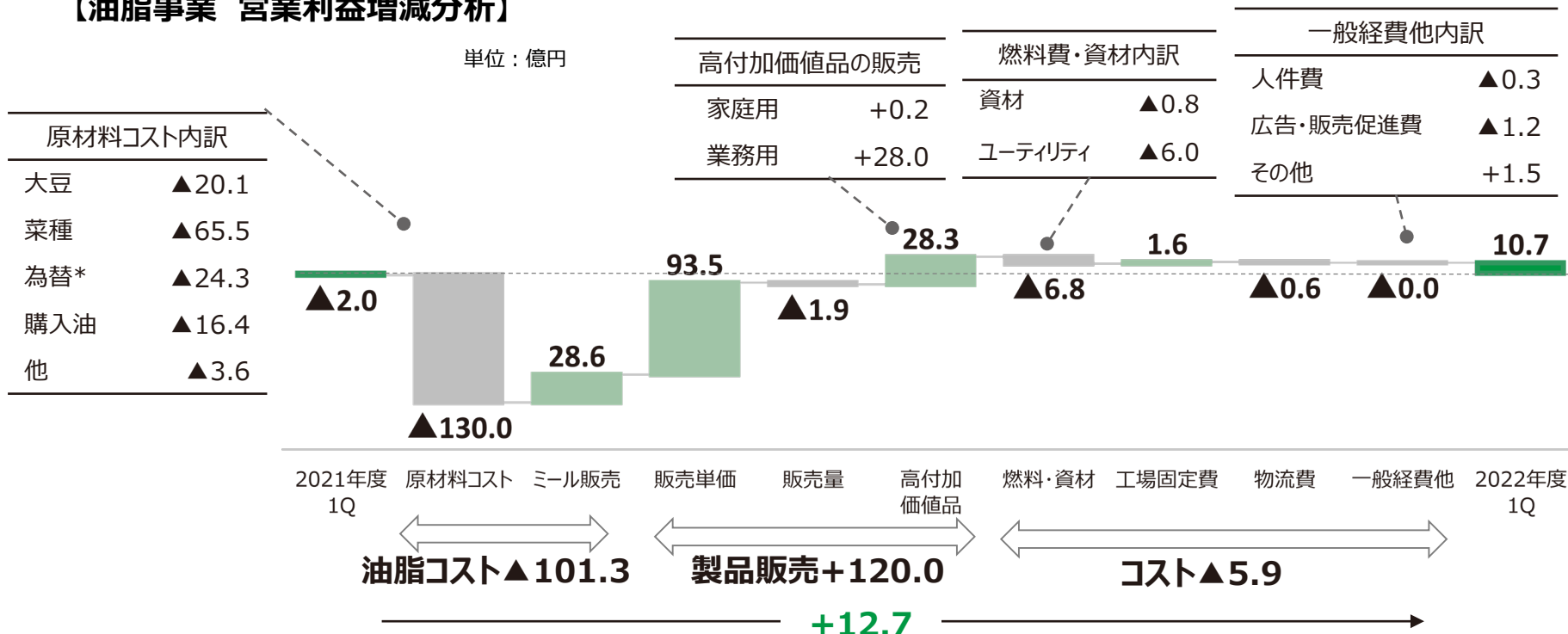
単位：億円

対前年同期実績



【油脂事業 営業利益増減分析】

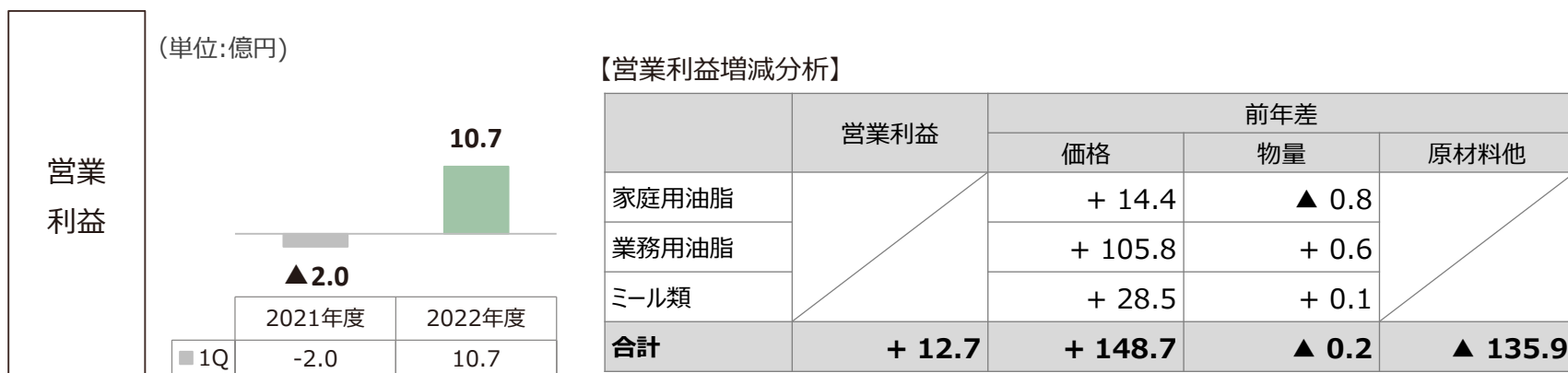
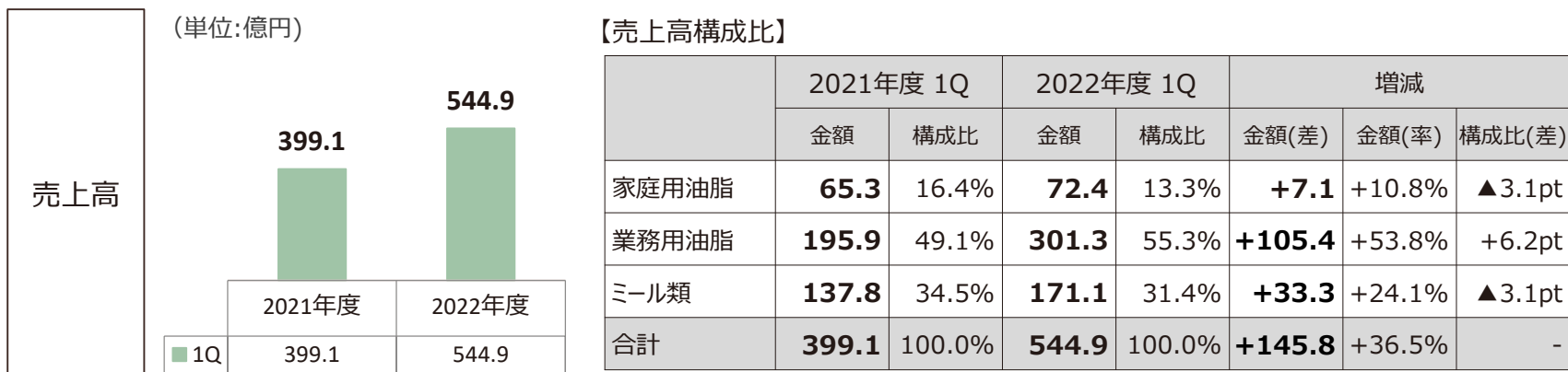
単位：億円



*為替・・・21年度 1 Q:106円/1ドル、22年度 1 Q:117円/ 1ドル

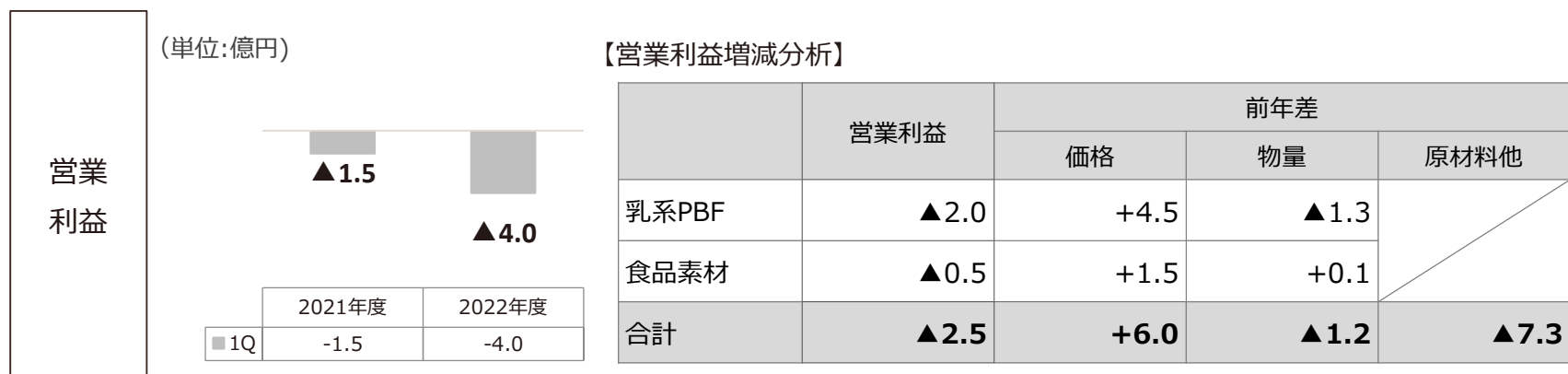
セグメント別業績：油脂事業

- 売上高は、価格改定による販売価格の上昇と業務用の長持ち油を中心とした高付加価値品の拡販により増収
- 営業利益は、適正価格での販売を進めた結果、前年度赤字から利益を確保した



セグメント別業績：スペシャルティフード事業

- 売上高は、価格改定による販売価格の上昇とスターチの高付加価値品の拡販により増収
- 営業利益は、価格改定やSKU削減などによる生産性向上に努めたものの、原料コストやマーケティング費用増加の影響を吸収しきれず減益



高付加価値品

- 売上高は、販売価格の上昇と業務用油脂の高付加価値製品が伸長した結果、前年を大きく上回った
- 粗利益は、大豆・菜種及びパーム、オリーブ油などの購入油の原料価格上昇の影響により、悪化

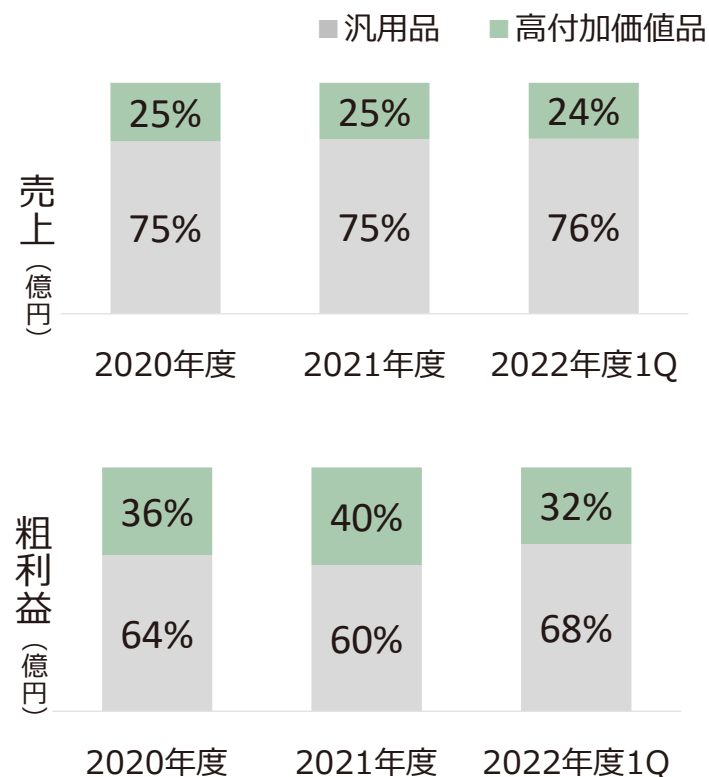
【高付加価値品推移】

		2021年度1Q	2022年度1Q	対前年 増減率
高付加 価値品	売上高	108.9	145.8	+33.9%
	粗利益	27.6	24.1	▲12.9%
	粗利益率	25.4%	16.5%	▲8.9pt

【セグメント別売上高】

		2021年度1Q	2022年度1Q	対前年 増減率
油脂 事業	家庭用	31.3	31.0	▲0.9%
	業務用	52.9	90.1	+70.3%
	合計	84.2	121.1	+43.8%
スペシャルティフード事業		24.7	24.7	+0.1%
高付加価値品合計		108.9	145.8	+33.9%

【高付加価値品 連結構成比】



B/Sの状況

- 総資産は、売上債権の増加と棚卸資産の増加により前年期末から増加
- 負債は運転資金調達のため有利子負債の増加により前年期末から増加

連結貸借対照表

	21年期末	22年1Q	増減
流動資産	942	1,054	+112
現預金	36	21	▲ 14
売上債権	351	372	+21
棚卸資産	509	613	+104
その他	46	48	+2
固定資産/繰延資産	675	671	▲ 4
有形・無形資	542	536	▲ 5
投資その他	133	135	+1
資産 計	1,617	1,725	+108

(億円)

	21年期末	22年1Q	増減
負債	672	778	+106
仕入債務	171	220	+49
有利子負債	306	361	+55
引当金	44	40	▲ 4
その他	151	156	+5
純資産	945	947	+2
株主資本	900	897	▲ 2
包括利益他	42	46	+4
非支配株主持分	4	4	0
負債・純資産 計	1,617	1,725	+108

- ・現預金（営業CF▲43、投資CF▲17、財務CF+46）
- ・原料価格上昇による棚卸資産の増加

棚卸資産の推移

(億円)



- ・原料価格上昇により運転資金が増加し、有利子負債増加

※ 有利子負債推移

※有利子負債・・・社債と借入金の合計値を使用



Agenda

1 2022年度1Q 決算概況

2 **2022年度 業績予想**

3 参考資料

2022年度 連結業績予想

- 期初の予想から変更せず据え置きとする

2022年度 業績予想

(億円)	2021年度	2022年度			前年差	前年比
	通期	上期	下期	通期		
売上高	2,015.5	1,200.0	1,400.0	2,600.0	+584.5	+29.0%
営業利益/営業損失	▲0.2	0.0	10.0	10.0	+10.2	-%
経常利益	6.0	1.5	11.5	13.0	+7.0	+117.8%
親会社株主に 帰属する当期純利益	19.5	0.0	12.0	12.0	▲7.5	▲38.6%
営業利益率	-%			0.4%	+0.4PPT	
ROE	2.1%			1.3%	▲0.8PPT	

2022年度 セグメント別業績予想

- 期初の予想から変更せず据え置きとする

2022年度業績予想

(億円)	2021年度	2022年度	前年差	前年比
売上高				
油脂事業	1,783.6	2,343.0	+559.4	+31.4%
スペシャルティフード事業	211.3	253.0	+41.7	+19.7%
（内乳系PBF）※	127.0	156.0	+29.0	+22.8%
（内食品素材）※	84.3	97.0	+12.7	+15.1%
その他事業	20.6	4.0	▲16.6	▲80.6%
連結合計	2,015.5	2,600.0	+584.5	+29.0%
営業利益				
油脂事業	3.3	8.0	+4.7	+145.8%
スペシャルティフード事業	▲6.2	2.0	+8.2	-
（内乳系PBF）※	▲8.7	▲0.8	+7.9	-
（内食品素材）※	2.5	2.8	+0.3	+14.0%
その他事業	2.7	0.0	▲2.7	▲100.0%
連結合計	▲0.2	10.0	+10.2	-

※2022年度より油脂加工品を乳系PBFに名称変更、テクスチャーデザインとファインを食品素材事業に統括

Agenda

1 2022年度1Q 決算概況

2 2022年度 業績予想

3 参考資料

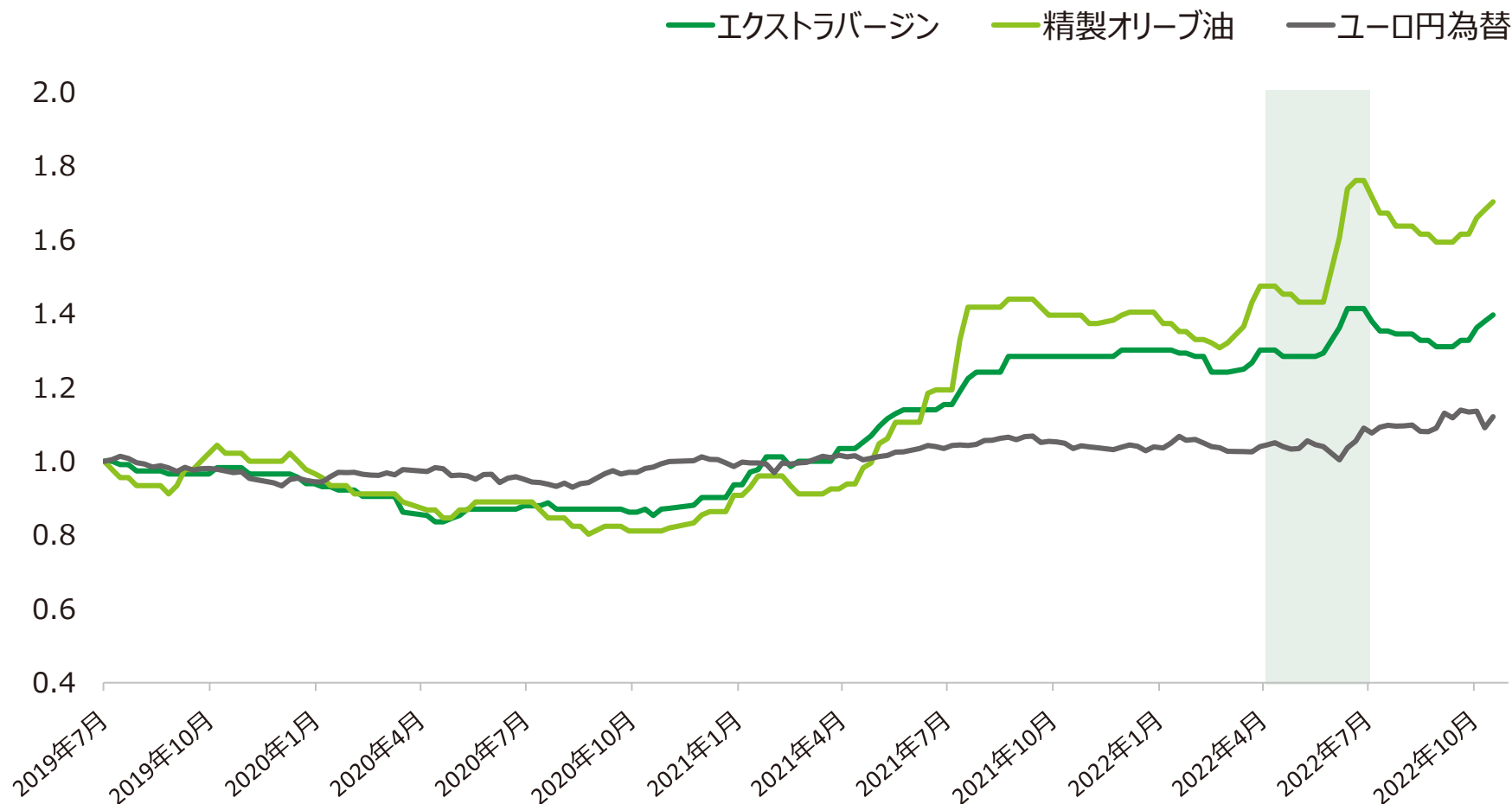
大豆、菜種、為替(米ドル)の相場動向

* 原料調達状況に近づけるため、相場データを3ヶ月ずらして表示(2019年4月を1とする(図中では2019年7月を1となる))

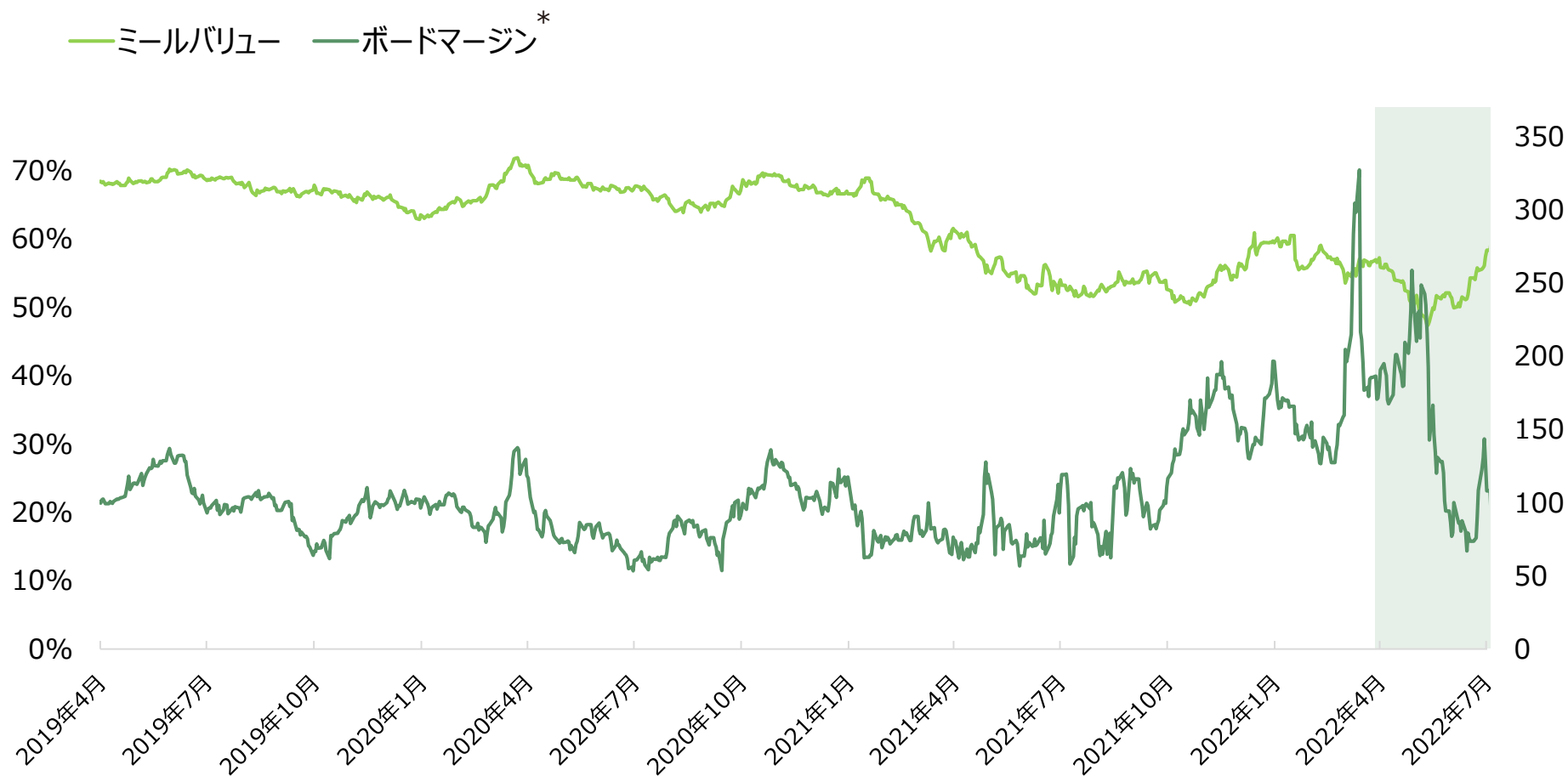


オリーブ、為替(ユーロ)の相場動向

* 原料調達状況に近づけるため、相場データを3ヶ月ずらして表示(2019年4月を1とする(図中では2019年7月を1となる))



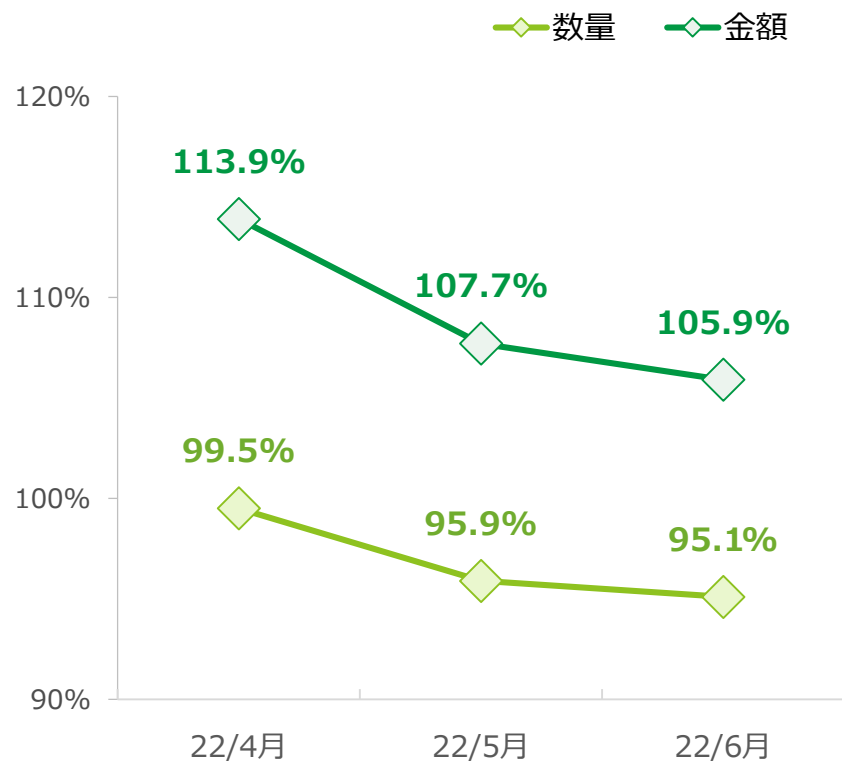
ミールバリューの動向



*シカゴ大豆定期1ブッシェルから産出する大豆油と大豆ミールの価値の合計と大豆1ブッシェルの価格の差

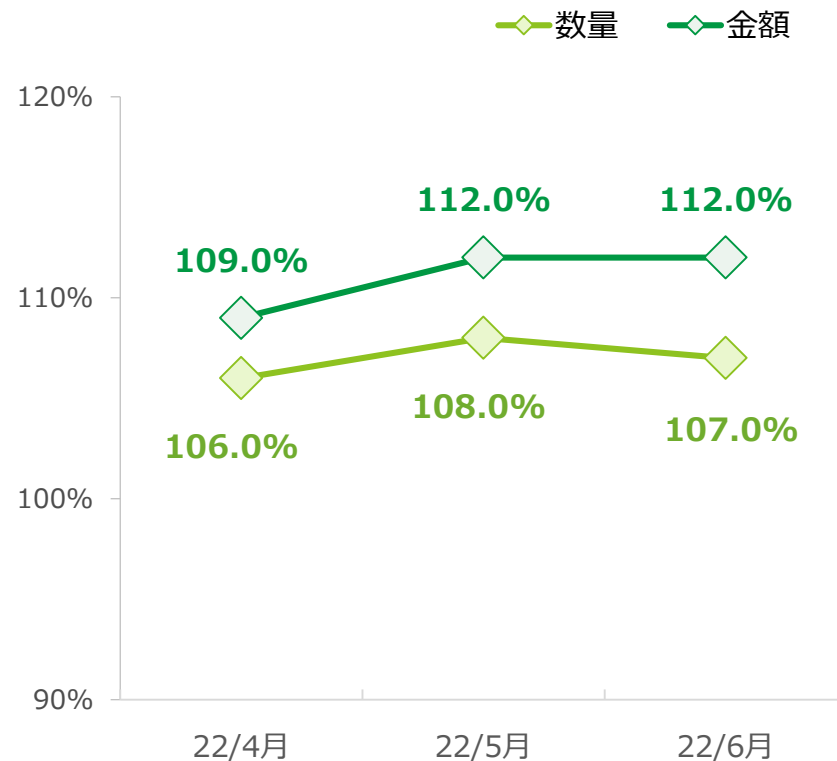
市場環境

家庭用油脂市場前年比



INTAGEデータ (油脂市場:2021年4月～6月、2022年4月～6月)を基に当社推定

業務用油脂※市場前年比



当社推定
※外食・中食市場

原材料動向

■ 外部環境：原料・為替状況

	22'1Q		22'2Q		22'3Q		22'4Q	
	実績 (前年)	対前年差	実績 (前年)	対前年差	前提 (前年)	対前年差	前提 (前年)	対前年差
大豆 ¢ /Bu ^{※2}	1,559.0 (1,391.6)	+167.4	1,684.2 (1,497.3)	+186.9	1,700.8 (1,358.6)	+342.2	1,700.8 (1,254.3)	+446.5
菜種C\$/MT ^{※3}	1,057.3 (737.7)	+319.6	1,123.3 (864.7)	+258.6	1,148.6 (885.4)	+263.2	1,148.6 (993.7)	+154.9
ミール ^{※1}	57.0 (63.8)	▲6.8	52.3 (55.9)	▲3.6	56.7 (53.2)	+3.5	56.7 (54.8)	+1.9
海上運賃us\$/t ^{※4}	77.8 (58.2)	+19.6	85.4 (68.4)	+17.0	87.0 (89.6)	▲2.6	87.0 (82.4)	+4.6
為替レート ^{※5}	117.3 (107.0)	+10.3	130.7 (110.5)	+20.2	131.0 (111.1)	+19.9	131.0 (114.7)	+16.3

※1: 搾油原料の買付けは基本的に約3カ月前の時点にて行っており、本図では各期の業績に影響のある期間相場の平均値を示しています

※2: シカゴ相場 ※3: ウィネベグ相場 ※4: US Gulf-Japan PANAMAX ※5: 為替TTSレート

価格改定状況

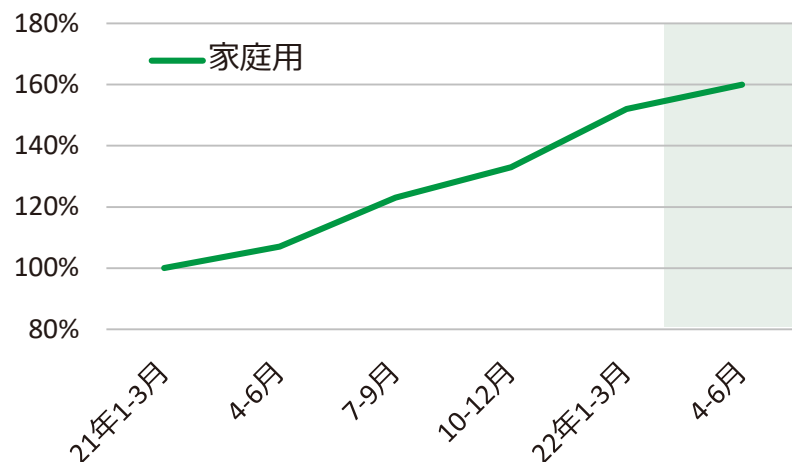
■ 油脂製品の価格改定

➤ 2021年度：5回（うち1回は菜種油脂のみ）、2022年度：2回の価格改定を実施

2021年度		2022年度	
改訂日	対象/額	改訂日	対象/額
2021/4/1	家庭用/業務用/加工用油脂 30円/kg 以上	2022/4/1	家庭用/業務用/加工用油脂 40円/kg以上 ^{※2}
2021/6/1	家庭用/業務用/加工用油脂 30円/kg 以上	2022/7/1	家庭用/業務用/加工用油脂 60-400円/kg以上 ^{※3}
2021/8/2	家庭用/業務用/加工用油脂 50円/kg 以上	^{※1} 菜種油脂製品のみ対象 ^{※2} 2022/2/1に改訂した菜種油脂製品を除く全商品対象 ^{※3} 全商品対象	
2021/11/1	家庭用/業務用/加工用油脂 30円/kg 以上		
2022/2/1	家庭用/業務用/加工用油脂 40円/kg以上 ^{※1}		

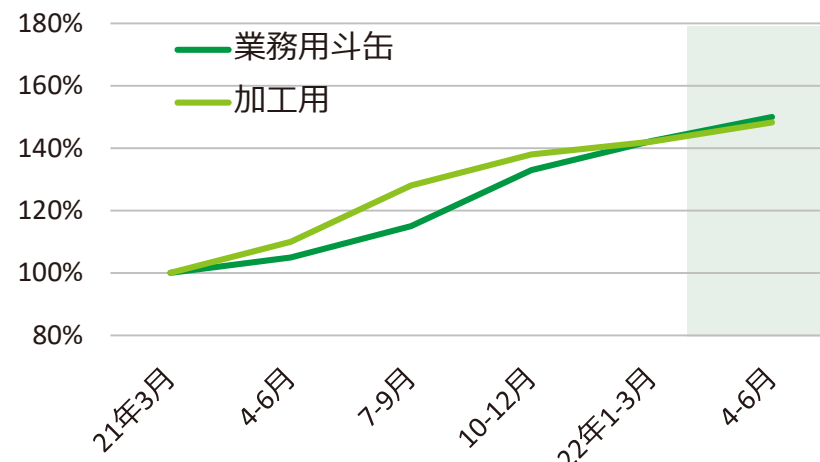
■ 価格改定推移（外部データ）

【家庭用油脂製品】



2021年3月を1として算出
出典：INTAGE（油脂市場:2021年3月～2022年6月）
当社ベーシックオイル平均単価トレンド

【業務用油脂製品】



2021年3月を1として算出
出典：日経相場情報より



Joy for Life